

製本のススメ

Vol. 4

楽しかったGWも終わり休み気分もすっかり抜けた事(?)と思います。既に夏休みが待ち遠しいですね。ひとまず思い出は胸にしまって バリバリお仕事しましょう！

今回も紙目のお話

さて紙目の特徴については、前回のススメ3でわかったかな？今回は紙目によるトラブルの代表をいくつか紹介しましょう。

その1

カタログ等の色ベタ刷を折る際に
折り目が紙割れを起こして白い筋に
なってしまった。(筋入れを施しても、
やはり紙割れは起こるのです)

その2

片面だけ PP 加工をしたら反り返って
しまい製品にならなかった。
(両面なら大丈夫？いえいえ世の中
そんなに甘くないのです)

その3

表紙や見返しを横目承知で製本を
依頼したら、小口が波打ち、シワも多
く出ていた(文句を言われても。。。
あらかじめ相談してください)

その4

観音折や三つ折のカドがちゃんと折
れずに、ずれている。
(ミニ折・CD ジャケットや CD ブック
レットは、特に注意してください)

その5 天糊加工なのに、パラパラと壊れやすい。

(紙の繊維と平行ならば糊付きは良く、逆目はつき難いのです)

どうですか？身に覚えのある事柄もあるのではないのでしょうか。これらが全て紙目だけの原因とは言いませんが、主因である場合が多いのです。特に糊を使う工程では、糊の水分が大敵！貼る側も貼られる側も、紙目の影響を大きく受けます。コストダウンも大切ですが、素材の特徴をよく理解しないと、思わぬ落とし穴がありかえって割高になる事も少なくありません。エンドユーザー達にとって【良い品】の条件とは、何なのかを もう一度考えて見ましょう。



Tea break

お鍋のコゲツキってなかなか取れないですネ、クレンザー片手にタワシでゴシゴシ洗うのは、結構大変！そこで、天気の良い日にお日様にあててみて(*^*)v
しばらくすると、パリパリになっておコゲが剥がれるよ。これぞエコロジーなお鍋の洗い方♪

by (株) 井関製本